

水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新！！

大空消防署では、約26年もの間第一線で活躍した水槽付き消防ポンプ自動車を更新、令和3年10月1日より運用を開始しています。



更新された消防車両には、水槽容量6,500ℓの水を積載しているほか、大空消防署としては初めて圧縮空気泡消火装置（CAFS／モリタMMC5400）を導入、水と消火薬剤に圧縮した空気を混合し泡放水を行う装置で、この泡は吸着性・浸透性のすぐれ高い消火効果があり、従前の水放水と比べ水の使用を大幅に減らすことが可能となりました。

使用する消火薬剤は、A火災（普通火災）用として天然由来成分の界面活性剤（石けんと同じ成分）を使用しており環境への影響を最小限に抑えたものになっています。また、消火薬剤を変えることで、B火災（油火災）にも対応できる等幅広い火災対応が可能となりました。

A火災の消火薬剤では、圧縮空気を混ぜることによりホースが軽く機動性に優れ、泡放水により水蒸気の発生を抑制し視界の確保が図られる等、隊員の活動負担の軽減にもつながり、より効率的な現場活動が可能となります。

更に、キャビンにはハイルーフを採用し、広い室内空間に多くの収納スペースを確保、後部座席では隊員が余裕を持った呼吸器装着等が可能となりました。

照明には高輝度LEDを採用し、夜間活動の視認性・安全性の向上、赤色灯・作

業灯類も同じように変更したことにより省電力化を図ることができました。

老朽化した資機材の更新に加え、搬送資機材の拡充を図るなど、あらゆる災害現場において更なる活躍が期待されます。

